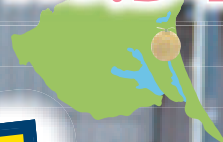




ほこた市 議会だより

平成26年1月31日発行

No.34



～第9回ほこたマラソン大会～

ゴールは、すぐそこ！
がんばるぞ～!!!

平成25年12月定例会

平成25年第3回臨時会	P2
提出議案と審議結果	P2～3
平成25年第4回定例会	P3
主な討論	P4
各議員の賛否／欠席者	P5
ここが聞きたい！ 一般質問	P6～11
主な議会の動静	P11
委員会活動報告	P12～13
傍聴者の声 3月定例会の予定	P14



平成25年第3回臨時会

〈本会議〉
11月13日

主な質疑

一般会計補正予算（第5号）について

●提案内容

台風により被災した道路、学校等の応急修繕に要する経費を増額する。

問

台風関係の災害対策、災害復旧

ということですが、市長選挙が告示される直前で職務代理者を置いていたとは思いますが、こうした緊急事態に対して災害対策本部でどういう対応をされたかお尋ねします。

答

職務を代理した期間は10月

17日から29日まででした。その期間内については、職務代理と言いつつも、市長と連絡をとりながら、随時指示を受けながら実施してきました。

台風26号は、かなりの雨量がありましたので、災害警戒本部を立て、

ち上げて対策に当たりました。この時は、避難勧告ではなくて、住

民に周知を行いました。台風26号から台風27号までは、雨が続いておりましたので、台風27号が接近した25日には早目に避難勧告を出して対応しました。

提出議案と審議結果

◎ 全員賛成
● 賛成多数
● 賛成少数
△ 継続審査

平成25年第3回鉾田市議会臨時会

常任委員会委員の選任について

経済建設常任委員会委員 小沼 勝

特別委員会委員の選任について

原子力施設の安全に関する調査特別委員会委員 小沼 勝

平成25年度補正予算

◎ 専決処分の承認について

鉾田市一般会計補正予算（第5号）

◎ 鉾田市一般会計補正予算（第6号）

◎ 鉾田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

◎ 鉾田市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

財産の取得

◎ 財産の取得について

平成25年第4回鉾田市議会定例会

条例・規則の一部改正等

◎ 鉾田市税条例の一部改正について

◎ 鉾田市国民健康保険税条例の一部改正について

◎ 鉾田市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について

● 鉾田市健康増進施設の設置及び管理に関する条例

の制定について

● 鉾田市農業集落排水処理施設条例の一部改正について

● 鉾田市下水道条例の一部改正について

● 鉾田市水道事業給水条例の一部改正について

平成25年第4回定例会

〔本会議〕
12月6日、20日

主な質疑

鉾田市税条例の一部改正について

●提案内容

主に公社債及び株式等に係る課税方式の見直しが行われたため、改正をする。

問

金融所得関係の課税の件で、国や地方公共団体、民間企業が発行する債権、いわゆる公社債の利子や、譲渡の損益についても、上場株式と同じように損益通算をできると解釈しましたが、要点説明をお願いします。

答

金融所得課税の一体化に伴う見直しということで、これまで公社債と株式では課税方式が異なっていました。公社債の譲渡所得は非課税という扱いになっていましたが、特定公社債と一般公社債とに区分にした上で、申告分離課税を主とする課税方式に変更して、

取り扱いを株式も公社債も同じような取り扱いにするものです。また、損益通算については、公社債の課税方式についても、株式等の課税方式との同一化が図られることとなりますので、その上で損益通算できる範囲を公社債まで広げて取り扱うというような内容です。

平成25年度補正予算

- ◎ 鉾田市一般会計補正予算（第7号）
- ◎ 鉾田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ◎ 鉾田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ◎ 鉾田市介護保険特別会計補正予算（第2号）

契約

- ◎ 工事請負契約の締結について

訴えの提起

- ◎ 訴えの提起について（6件）

市道路線

- ◎ 市道路線の変更について

人事

- ◎ 鉾田市監査委員の選任について（中居 箕輪 明男）
- ◎ 鉾田市教育委員会委員の任命について（上釜 関根 勝美）
- ◎ 鉾田市教育委員会委員の任命について（飯島 新館 和子）
- ◎ 鉾田市副市長の選任について（樫山 石崎 順）

選挙

- ◎ 鉾田市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙（指名推薦）
鉾田市選挙管理委員会委員
大竹 飯塚 庄助
子生 皆藤 茂也
徳宿 川又 淑
札 野中 悦雄
鉾田市選挙管理委員会委員補充員
第1順位 鹿田 村上 勝男
第2順位 紅葉 大久保 敏雄
第3順位 台濁沢 坂爪 衛
第4順位 鉾田 崎山 悟

主な討論

鉾田市健康増進施設の設置及び管理に関する条例の制定について

●提案内容

ほっとパーク鉾田、及び、とつぷ・さんて大洋の設置及び管理に関する条例をそれぞれ廃止し、新たに制定する条例に統合するとともに、消費税率の引き上げに伴う利用料金の見直しをする。

○反対討論（高野衛）

ほっとパーク鉾田、とつぷ・さんて大洋の施設は、子どもから老年寄りまでの3世代の触れ合いと福祉の向上を目的とした施設であり、消費税の引き上げを福祉の施設に転嫁することには納得がいきません。所得の少ない人ほど負担が重い、不公平な消費税に頼らない道を選ぶべきだと思います。国の財政を立て直すには、ダムや無駄な公共事業の削減、米軍への思

いやり予算、政党助成金の廃止などにメスを入れるとともに、大企業が206兆円もの内部留保資金をためている現状を見れば、労働者の賃上げを行い、さらに中小企業への予算を増やすなど、内需主導で、消費成長させて税収を増やすことで、消費税に頼らない財政再建の道を歩むべきと考えます。

消費税増税によって、ますます景気を悪くすることになり、市民を苦しめる今回の提案には反対をいたします。



ここが争点！

条例の制定（1議案）及び条例の一部改正（3議案）については、消費税額が平成26年4月に8%、平成27年10月に10%へと引き上げとなった際に、料金へ増税分を転嫁すべきかどうか争点となりましたが、いずれの議案についても賛成多数により可決され、消費税法改正に合わせて料金が改正されることとなりました。

○賛成討論（米川宗司）

現在、施設の運営は指定管理者である公益財団法人鉾田市健康づくり財団が管理を行っておりますが、財団も消費税納税団体であり、消費税が引き上げられれば、その分も納税しなくてはなりません。

財団においても、経費削減等の努力を行っているものの現状の料金体系を維持し、納

税することは困難となります。その場合は、市から管理運営委託料が増額となります。市民の健康増進事業推進のため、利用者から負担いただくことも必要であると考えます。引き上げ額も消費税増税による最小限のものと考えますので、本案に対し賛成の意を表します。

鉾田市農業集落排水処理施設条例の一部改正について

鉾田市下水道条例の一部改正について

鉾田市水道事業給水条例の一部改正について

●提案内容

農業集落排水処理施設及び下水道の使用料金、水道料金について、現在の料金表示は内税（税込み）であるものを、外税（税抜き）に改めるとともに、消費税率の引き上げに対応できるように改正する。

消費税の引き上げ及び料金への転嫁に反対するとの討論に対して、市の財政を圧迫せず健全な運営に向けて推進するためには、消費税増額分の使用料金への転嫁は必要であるとの討論が交わされました。

欠席者

第3回臨時会

11月13日	本会議	飯塚 幸右衛門
--------	-----	---------

第4回定例会

12月10日	本会議	江沼 久男 井川 茂樹
12月11日	本会議	江沼 久男
12月18日	厚生文教常任委員会	入江 晃 江沼 久男

各議員の賛否（賛成反対が分かれた議案のみ掲載）

議案名	議員名		小沼	根寄	小沼	出沼	小川	水上	入江	江沼	小沼	岩間	畠	井川	米川	友部	山口	栗田	田口	堀田	高野	石津	倉川	採決結果
	反対討論	賛成討論	勝	眞	幸	丈	一	美	晃	久	俊	勝	長	茂	宗	政	徳	洋	清	正	衛	武	陽	好
鉾田市健康増進施設の設置及び管理に関する条例の制定について	高野	米川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
鉾田市農業集落排水処理施設条例の一部改正について	高野	畠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
鉾田市下水道条例の一部改正について	高野	小沼（幸）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
鉾田市水道事業給水条例の一部改正について	高野	友部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決

○：議案に対して賛成

●：議案に対して反対

議：議長

ここが聞きたい!! 一般質問

10人の議員が一般質問

議員名	質問事項
小川 一彦	1. 台風 26 号、27 号について 2. 料金等の改定について 3. 鉾田市の人口について 4. 市道 8-359 号線について
石津 武吉	1. 市長の議会対策について 2. いじめ防止について 3. 広域ゴミ処理化と住民合意について 4. 軽自動車税の増税の動きについて
水上美智子	1. 市の公式ホームページの活用について 2. 空き家対策について 3. ビロリ菌除菌の保険適用について 4. 子ども議会について
畠 長弘	1. ラムサル条約について 2. 減反政策の見直しについて 3. 防災対策について
倉川 陽好	1. 学童保育について 2. 地域図書館について 3. 鉾田旧駅周辺の排水路問題について 4. 道路の維持管理・補修等検査について 5. 台風 26 号の被災状況と復旧対策と今後の対応と災害時の問題点等と今後の課題について
出沼 丈夫	1. 台風 26 号の被害から見られる、今後の対策について 2. 下水道の普及率について
小沼 幸義	1. 白鳥東小学校舎の雨漏りについて 2. 濁流対策について 3. 中居地区の道路崩落について
入江 晃	1. 国民体育大会について 2. 北中学校の小学校統合における通学方法について 3. 農産物加工場について
小沼 俊秀	1. 道路問題について
高野 衛	1. 障害者雇用対策について 2. 耐震補強工事について 3. 農業用ビニールハウスの建替の助成対策について 4. 市道の整備について 5. 原発事故による損害賠償について



災害補償について・
市道 8-359 号
(鳥栖地内) の
現在の状況は
小川 一彦 議員

問

答

台風の被害で総合公園のテニスコートの脇の下の家に土砂が崩れ、車がだめになったり、その土砂が家の中に浸入したりしましたが、これらについて見舞金や補償金を支出することを市は考えていますか。

【総務部長】基本的には民地間での被災については当事者間で補償し合うこととなります。しかし、市がかかわる公共施設の影響で被害を与えた場合には、復旧の費用については基本的に市もその財産の管理者にな

提言

りますので、その範囲内で公共性がある部分については、市が補償していくことになると考えています。

土砂が崩れたのは民地ですが、U字溝がオーバーフローをして、その水が崖のほうに流れて崩れたのかと考えます。そうすると、施設の管理が行き届いていなかったことが原因だと思いますので、私は個人的に見舞金で対応してもいいのかなと、そのように思います。それはよく検討していただきたいと思います。

問

答

平成 21 年に市道 8-359 号線(鳥栖地内)道路拡幅に関する請願書が議会にて採択されましたが、その後の進捗状況を伺います。

【建設部長】道路整備については、市全体の要望路線の優先順位等を考慮しながら、補助事業の導入等を視野に入れた計画調整作業を毎年進めているところです。本路線については、近隣に重要な観光資源もあり、市の知名度アップにも一躍を担っている箇所周辺を通る

答

重要な路線という位置づけから、市で主体的に整備を図る方向で、関係機関と調整を行った結果、補助採択の実現に向けた道筋が一定程度見えてきました。このようなことから平成 26 年度以降には事業調査等を行う予定であり、今現在、調整を進めています。

【建設部長】まず現況測量に入りたいと考え

再質問

平成 26 年度中にどのくらいまで進める考えがあるのか伺います。

ホームページで 一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

①鉾田市のホームページへアクセスする。

アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>

②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。

③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、3月頃の予定です。

本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

鉾田市役所ホームページ

検索



ピロリ菌除菌への保険適用に対する市の考えは

水上美智子 議員

問 本市においての胃がん検診受診者数はどのくらいか伺います。また、ピロリ菌検査の公費助成について市の考えを伺います。

答 【健康福祉部長】平成25年度のがん検診の受診者は、4636名です。つぎに、ピロリ菌検査の導入についてですが、厚生労働省のガイドラインでは、胃がん検診は胃部エックス線が推奨されていますので、現時点ではガイドラインどおりに進めていきたいと思っています。

再質問 鉾田市は胃がん検診の受診率は低いのか高いのか伺います。

答 【健康福祉部長】鉾田市は胃がんの受診率は低い状況です。それから、現時点ではピロリ菌検査を導入する予定はありません。

再質問 本市の国民健康保険における胃がんにかかわる医療費がどのくらいかかっているのか伺います。また、岡山県の真庭市では、市がピロリ菌をテーマに公開講座を開催したところ、市民から若い世代の方を対象に無料検査を求める声が上がっており、市内中学2年生と3年生を対象としたピロリ菌の無料検査の取り組みを実施したとの

答 【健康福祉部長】ピロリ菌に対する周知ですが、機会を捉えて検討していきたいと思っています。

再質問 本市の国民健康保険における胃がんにかかわる医療費がどのくらいかかっているのか伺います。また、岡山県の真庭市では、市がピロリ菌をテーマに公開講座を開催したところ、市民から若い世代の方を対象に無料検査を求める声が上がっており、市内中学2年生と3年生を対象としたピロリ菌の無料検査の取り組みを実施したとの



軽自動車税の増税への対処は

石津 武吉 議員

問 軽自動車税の増税の動きについてお尋ねします。本市においても軽自動車は重宝がられており、農家の方も軽トラックを使っております。こうした庶民いじめとも思える軽自動車税の増税について、どう対処する考えをお尋ねします。

答 【市民部長】直近では、消費税率を10%に引き上げる時点で軽自動車税を引き上げるという方向で報道がされております。市としては、法律改正がなされれば

再質問 交通の体系が弱い必要な条例改正案を提案していきま。

答 【市長】今後、消費税が10%に上がることを考慮し、自動車取得税が廃止されるというのですが、自動車取得税は地方税ですので地方自治体においてはその分の税収が減ります。それを軽自動車税の増税で補てんしようという議論されているようですが、軽自動車税の増額分で充当するのは金銭的に難しいと思います。さらには軽自動車の台数の割合が増えている現状からすると、市民にとって生活の一番の手段になっているとい

再質問 本市の国民健康保険における胃がんにかかわる医療費がどのくらいかかっているのか伺います。また、岡山県の真庭市では、市がピロリ菌をテーマに公開講座を開催したところ、市民から若い世代の方を対象に無料検査を求める声が上がっており、市内中学2年生と3年生を対象としたピロリ菌の無料検査の取り組みを実施したとの

提言 政治力を発揮していただき、大幅な値上げにたいは、大幅な値上げについてはいかなるものかと思ひます。

再質問 本市の国民健康保険における胃がんにかかわる医療費がどのくらいかかっているのか伺います。また、岡山県の真庭市では、市がピロリ菌をテーマに公開講座を開催したところ、市民から若い世代の方を対象に無料検査を求める声が上がっており、市内中学2年生と3年生を対象としたピロリ菌の無料検査の取り組みを実施したとの



旧鉾田駅付近の排水路の整備について

倉川 陽 好 議員



涸沼のラムサール条約登録に向けた今後の市の対応について

畠 長 弘 議員

問 旧鉾田駅周辺の排水路問題に関して、流末はどのようになっているのか。また、それらについてどのように対処していくのかお尋ねします。

答 【建設部長】 鉾田市旧駅前から水戸信用金庫周辺の県道小川鉾田線の側溝改修は、県道から増子書店脇の素掘り排水路までの区間の側溝の伏せかえに当たり、市で一部用地買収を行い、工事は県が行う予定となっています。現在は

問 涸沼のラムサール条約登録についてどのような今後進めていくのか。

地元住民は涸沼を生活排水の流末として利用してきましたが、今までの規制でいいのかお聞きします。

また、この条約に登録されることでどのような効果を見込んでいるのか。

答 【市民部長】 ラムサール条約の登録には、①重要な湿地であること。②自然公園法、鳥獣保護法などで自然環境の保全が図られていること。

工法等について検討中です。また、流末の水路は、市で清掃を数回行っています。が、本格的な整備については模索中です。

再質問 整備する場所はお尋ねします。

また、市で用水路として管理している土地なのであれば、危険箇所には立ち入り禁止の標識を立てるなどしっかりと対応をしていたきたい。

③地元自治体等の賛意が得られることが条件となります。

茨城県では地元3市町（茨城町・大洗町・鉾田市）と協議会設立を図る考えを示しており、市としても、この協議会での議論を通してラムサール条約登録に向けた取組みを図る考えです。

規制に関しては今までと同じでよいのかということですが、現行法令基準等で特に問題はありません。

また、今後の関連事業の取り組み、更には活用PRによる

答 【建設部長】 場所は、旧鉾田駅前から県道です。雨水等が増子書店周辺に集まってきてしまっただけで、県と協議をし、協力しながら整備を進めていくことになりました。その整備をスムーズに進めるためには用地買収が必要なので、早急に進めなければならぬと思っています。

危険な箇所については、何らかの方策をとらせていただきたいと思います。

り知名度アップ、更に経済効果を見込めるものと考えています。

提言 例えば、国連の食料農業機関が次世代に継続すべき重要な農林水産業や生物多様性の農業環境を有する地域のシステムとして認定する世界農業遺産というものがあります。本市と同じように農業が盛んな熊本県の阿蘇市ではこの世界農業遺産に認定されています。本市でもぜひこの世界農業遺産の登録を目指し、



増子書店脇排水路

提言 県で対処する部分については早急な対応を強く県に働きかけていただきたい。

またラムサール条約の登録と合わせて取組んで行けば相乗効果が期待されます。

ラムサール条約に登録されるほど自然環境がよいところで育った農作物、そして農業世界遺産に認定された地で生産された農作物という事になれば、市長が進めている農産物のブランドアップ化が図られ、更には鉾田市全体のイメージアップにもつながると思います。市長にはこの取り組みに積極的に働きかけをしていただきたいと思います。



中居の道路崩落への対応と、再発防止への取り組みは

小沼 幸義 議員

答

【建設部長】中居の崩落道路については、測

問 台風26号により崩落した中居地区の道路復元工事の現在の進捗状況を伺います。

また、復元に当たり、再発しない工事をどのようにするのか伺います。

この現場を見ますと、北側の山林を買収し、真つすぐな道路にすれば、コストを抑えて計画ができると思いますが、そのような計画があるのかどうか伺います。

再質問

中居の道路の復元工事において、現

量業務を終え、現在設計業務を行っているところです。

再発しない復元工事についてですが、復旧に当たり、今後の被害を最小限にとどめるよう、道路の安全性を高める設計に努めていきたいと考えています。

つぎに、被災した現況復旧が急務であり、復旧工事を早急に進めていきたいと考えていますので、現段階では北側を直線道路に拡幅する計画はありません。

答

【建設部長】道路の設計の際は同じような災害が起こらないように、未然に防ぐような施策をします。

U字溝をつけることで被害の再発防止につながるかは今の段階でははっきりと言えないところですので、参考とさせ

在は北側にのみU字溝が入っていますが、南側にもU字溝を入れれば、泥流も両端に分かれてU字溝から流れ落ち、崩落が起こらない道路になるのではと思いますが、それについて考えを伺います。

提言

中居の道路の崩落地点において、通行止めの看板が現場から200メートル上下に立っています

が、他から来る大型車は現場に来て初めて通行止めになり、Uターンしなければならぬという事態がありました。看板を道路の分岐点近くに立てれば、大型車もそこからは入ってこないで、今後はこういう事態が起こらないように改善してもらいたいと思います。



台風等による災害に対する市の対処は

出沼 丈夫 議員

問

台風26号により、鉾田市も甚大な被害を受けました。例えば大洋地区においては、道路の寸断が何力所も見られました。総合運動公園周辺でも、家屋の庭先に土砂が流れ込み、大変な被害をこうむった家屋がたくさんありました。そのような甚大な被害は、排水溝に枯れ葉や落ち葉が詰まり、あふれ出た水が流れ落ちたことからたらされたものかと考えています。鉾田市として、今後

答

【建設部長】大雨注意報・警報が予想される際には、市職員により危険箇所のパトロールを行っており、事前にグレーチング等の清掃や水路内のごみ除去等により、災害を未然に防ぐよう努めています。今後はパトロール体制をさ

らに強化していきたいと考えています。

また、鉾田市内の急傾斜地等の危険箇所のほとんどは民有地であるため、市での管理や整備については難しいと考えています。

提言

安塚地区の道路が、毎年のように寸断

される状況が続いています。この状況を見たところ、排水溝に落ち葉がたまり、排水路がふさがってしまうことを何度も繰り返しています。大雨等がある場合はさ

らに点検を密にしていたとき、被害の出ないようにお願いします。

また、七軒町地区では、鉾田二高のグラウンドで、排水溝に枯れ草が詰まってしまい、水が一気に三光院に流れ落ちたことにより、土砂災害が起きてしまいました。これらも県とよく打ち合わせをしながら協議していただき、被害を最少限度に食い止めていただきたい。

ていただきます。



台濁沢・安塚間、 台の浜・大竹間 の道路整備は

小 沼 俊 秀 議員

問 国道51号線台濁沢信号付近から安塚間は非常に通行量が多く、特に大型車の通行が目立っています。学生たちの通学路としても重要な路線で、早急な整備が必要であると思います。

答 台の浜から大竹間についても、まちづくり計画の中でどのように整備していくか考えていきます。

再質問 国道51号線台濁沢信号より西へ約500メートルほど進んだ場

再質問 この道路の美原付近には水が大



市道大洋 0101 号線 5 差路（台濁沢地内）

策について伺います。

答 【建設部長】美原の件については、水溜り解消というところで、早急に工事をする計画でいます。



加工場建設の 進捗状況と、 今後の進め方は

入 江 晃 議員

問 農産物加工場の現在の進捗状況について伺います。インドネシアでの農業支援について報道されたことにより、銚田市での加工場建設はやめられているとされている方もいますので、その点も含めて市の考えを伺います。

再質問 ある程度目標の時期を決めてしっかりと取り組んでいただきたい。加工品についても農家に利益

答 【産業経済部長】26年度は販路等の調査を進め、27年度はその結果を踏まえ、補助事業について検討し申請できればと考えています。28年度はそれらに基

再質問 いつまでに建設をするか決まないと、いつも「研究、調査」といつまでも終わってしまいます。一方で、大きな企業などと呼ぶことも視野に入れて進めることはできないか伺います。

答 【産業経済部長】調査結果に基づき加工場の規模等が決まってきます。経営についても、公設民営か民設民営か協議し、早急にこの計画を進めていきます。

主な議会の動静

11月

- 1日 山梨県笛吹市議会来庁
- 1日 国道354号線要望活動（水戸市）
- 5日 議会広報編集委員会
- 6～7日 議会運営委員会行政視察（山梨県南アルプス市・長野県上田市）
- 8日 県東市議会議長会定例会（鉾田市）
- 13日 議会運営委員会
- 13日 平成25年第3回臨時会
- 13日 経済建設常任委員会
- 14～15日 茨城県市議会議長会第1回議員研修会（土浦市）
- 18～20日 経済建設常任委員会・厚生文教常任委員会行政視察（北海道北広島市・登別市）
- 25日 4団体連絡会議（水戸市）
- 29日 議会運営委員会

12月

- 6～20日 平成25年第4回定例会
- 6日 議会運営委員会
- 6日 全員協議会
- 6日 総務企画常任委員会
- 13日 会派代表者会議
- 16日 総務企画常任委員会
- 17日 経済建設常任委員会
- 18日 厚生文教常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会
- 20日 議会広報編集委員会

1月

- 17日 山形県南陽市議会来庁
- 21日 議会広報編集委員会
- 23～24日 県市議会議長会正副会長会・理事会・定例会（古河市）
- 29日 会派代表者会議
- 29日 正副委員長会議
- 30～31日 県東市議会議長会視察研修（神奈川県葉山町）



耐震改修に対する市の取り組みは

高野 衛 議員

問

鉾田市耐震改修促進計画の達成状況について、この計画は、茨城県南部地震を想定し、市内の木造住宅などの建築物の耐震化率を90%としているものですが、現在の達成状況と耐震補強が行われていない戸数は現在どのくらい残っているのかをお尋ねします。

答

【建設部長】市内における住宅の耐震化率は68%、未達成の戸数は59,000戸となっております。木造住宅の耐震診断化は、耐震計画よりも下回っています。

答

【教育部長】鉾田中央公民館の耐震補強工事の実施設計書が、今年6月に納品されています。工事計画については、（仮称）文化複合施設については、引き続きホームページ掲載や新聞折り込み及び地区回覧で啓発活動を行うことにより、耐震診断に対する意識の高揚を図り、耐震化促進につなげるよう努めていきます。耐震改修助成については、近隣市町の状況を見据えて検討していきたいと考えています。

再質問

耐震改修となれば、100万単位の費用がかかるので、二の足を踏んでしまう方もいます。地震に備えたまちづくりを進める上で、市独自の耐震改修に対しての助成を行ってみたいと思います。

答

【市長】実際に補助を出している近隣の状況も参考にしながら検討していきます。

委員会活動報告

【総務企画常任委員会行政視察】

10月29日（火）に鳥取県伯耆町（ほうきちやう）において、交通弱者に対する対応とデマンド交通の運営について研修しました。伯耆町では、町営スクールバス事業、デマンド事業、研修バス（マイクロバス）事業、外出支援サービス事業など、町民それぞれの利用条件に合わせ、多様な交通手段が整備されていました。



鳥取県伯耆町

【議会運営委員会行政視察】

11月6日（水）に山梨県南アルプス市議会、翌7日（木）に長野県上田市議会において、会派による議会運営及び政務活動の取り組みについて、研修しました。南アルプス市議会では、半期ごとに「政務活動費成果報告会」を実施し、会派ごとに視察研修の成果を発表して、全議員がその成果を共有していました。上田市議会は、3月定例会において会派代表者質問を実施し、市長施政方針に対して会派の代表者がそれぞれに施政をただし、各会派の主張を述べる機会を確保していました。



山梨県南アルプス市議会

【経済建設・厚生文教常任委員会行政視察】

11月18日（月）に北海道北広島市、翌19日（火）に登別市において、学校統廃合と統廃後の施設の利活用について研修しました。北広島市では、統合後の学校の跡地利用について、駅近くの小学校を地域交流機能、児童センター、学童クラブ、デイサービス等に改修する計画が策定され、平成26年の供用開始に向け工事が進んでいます。登別市の札内高原館は地域農業の振興、農畜産製品及び加工技術の高度化を図るための施設として平成12年に整備されました。また、一般参加型の体験乳製品づくりなども開催され、地元住民や観光客も参加するなど、地域交流の拠点としても活用されていました。



北海道登別市札内高原館

飯塚 幸右衛門 議員逝去



市議会議員 飯塚 幸右衛門 氏が、在職中の平成 25 年 12 月 5 日に逝去されました。享年 67 歳でした。

同氏は、大洋村議会議員に平成 16 年に初当選されて以来、3 期 9 年余にわたり議員を勤められました。この間、総務企画常任委員会副委員長など多くの要職を歴任され、大洋村、銚田市の発展に多大な貢献をされました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

常任委員会の所属等

11 月 13 日の臨時会において、小沼 勝 議員が『経済建設常任委員会』及び『原子力施設の安全に関する調査特別委員会』の所属となりました。

また、会派については、12 月 20 日付けで『志政会』の所属となりました。



台風 26 号により崩落した中居地内市道

【経済建設常任委員会所管事務調査】

11 月 13 日の臨時会終了後、建設部長、道路建設課長などの職員から台風 26 号の大雨による災害発生状況について説明を受けました。その後、大きな被害を受けた現場 5 か所を視察し、早急に復旧するよう要望しました。道路建設課からの被害報告は、倒木、道路の土砂崩れ、陥没、排水のつまり、土地改良区の道路破損など 509 件発生。冠水などによる通行止めは 32 か所発生し、現在でも 7 か所で通行止めが続いているとの説明を受けました。産業経済課からは JA、任意組合からの被害について聞き取り調査の結果、被害の面積は 38.8 ha、その内収穫皆無面積は 17.17 ha、被害総額 1 億 5 635 万 7 千円。ビニールハウス 1807 棟、1 億 6 860 万円の貯蔵庫 1 棟 5 万円の被害額が発生。今回は県農林漁業災害対策特別措置条例による被害対策は難しく、JA の融資（500 万円限度）が行われる予定であり、その利子については市と県による利子補給が行われる予定であると説明を受けました。

【議会用語解説】

質疑とは？

議題となつてゐる事件について、賛成、反対又は修正等の判断が可能となるように疑義や不明確な点を提出者から説明や意見を求め、さらに質すためのものです。したがって、質疑に当たっては、自己の意見を述べることはできないとされています。

質問とは？

議案とは関係なく所属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況、将来における政策方針等について、口頭をもつて所信を質し、報告や説明を求め、又は疑問を質すことをいいます。

定例会で行う一般質問のほかに、**緊急質問**などもあります。

「質疑」と「質問」の相違

質疑は、議題に限られており議題外のことについて質すことは許されませんし、自分の意見を陳述することもできません。それに対し、**質問**は行政一般や施政方針について、長その他執行機関に意見を質すことであつて、その範囲は当該地方公共団体の一般事務である自治事務及び法定受託事務にも及びますし、自己の意見を述べても差し支えありません。

緊急質問とは？

台風により河川が決壊し多くの住民に被害が生じた場合や、職員の不祥事が発覚した場合など緊急、突発的な出来事の発生などに際し、執行機関の対応や政治責任などを問うために、議会の同意を得ておこなう質問のことをいいます。

傍聴者の声



鈴田市女性連絡
協議会幹事
鈴木 千代子

市になって初めて議会を傍聴しました。今回の一般質問は、台風による大雨の被害状況やこれからも起こりうる災害への備え等、身近な問題で、私の地区も避難勧告が出たこともあり興味深く聞きました。迅速な対応をお願いします。また学校教育やいじめの問題など、子どもたちに係わる質問も多く、明るく希望の持てる環境づくりを目指してほしいと思います。子ども議会の実施を提言する議員からの質問に対して、頭から否定せず前向きに検討してほしいと思います。

掲載写真募集!!

あなたの写真を
議会だよりに掲載しませんか?
詳しくは、議会事務局に
お問い合わせ下さい。
尚、編集の都合上、写真は
縦長にてお願い致します。

3月定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会議内容
3月4日(火)	本会議 開会
3月6日(木)	一般質問
3月7日(金)	一般質問
3月11日(火)	本会議
3月13日(木)	本会議
3月14日(金)	委員会
3月17日(月)	委員会
3月18日(火)	委員会
3月20日(木)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。
平成25年第4回(12月)定例会の延傍聴者数62名



編集後記

東日本大震災から今年3月で、3年が経過しようとしています。茨城の農水産物は依然福島第1原発事故の風評被害を払拭しきれず、鈴田の海水浴場においても事故前に比べ来客数は約半分程度の状況です。まだ長く続く感じがします。昨年の台風26号・27号では、近年にない大きい被害があり、異常気象を実感しました。

議会広報編集委員会は、議会の審議や各種の委員会の活動を分かりやすく、市民の皆さんに親しまれることを念頭に努力しているところです。ご意見などありましたらお寄せ下さい。

(高野衛 委員記)

委員長 倉川 陽好
副委員長 水上美智子
委員 出沼 丈夫
入江 晃
小沼 俊秀
高野 衛

※お詫びと訂正について

10月31日発行第33号の裏表紙 傍聴者の声において、表記に誤りがありました。正しくは「徳宿新田区長 大津 博史」になります。関係者及び読者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。訂正してお詫び申し上げます。